

# 東日本大震災被災地の障害者施設へ 「オーダーメイドメガネ支援」

2011/11/05  
株式会社メガネの和光

この度の震災に、当社といたしましても被災地の皆様のお役にたてるよう、当社なりの支援を考え、既製のメガネではなく一人ひとりの視力やかけ心地を合わせたオーダーメイドのメガネをお届けしたいとの思いから、日本赤十字社の仲介により、陸前高田市にて被災された障害をお持ちの方々45名一人ひとりに、和光の技術でお作りしたメガネを無償でお届けしてまいりました。



陸前高田市は、市街地が全て津波で流され、松原苑は津波こそ避けられたものの、天井が崩落するなど、一時期全員が市外へ避難するまでの被害を受けていました。今は、復旧しほぼ元どおりの運営ができていますが、周辺には、殆ど商店もなく、軒あったメガネ店も無くなってしまっている状況です。

10月4日に現地入りし、介護老人保健施設 松原苑の会議室を会場にお借りして、商品陳列と視力測定機を持ち込み設営をいたしました。事前に希望者を募り、メガネを提供する対象の方を決め、時間割を定めていましたので、10月5日10時より視力測定とメガネ選び、及び制作のための調整を行い、7日までの3日間で、45名の方のメガネを承りました。メガネは一旦名古屋に持ち帰り、加工をして再び10月27(木)、28(金)の2日間に同じ会場で一人ひとりに最終確認と調整を行いメガネをお渡しいたしました。



メガネを提供した方々は、松原苑入所者が13名、デイケアで訪れる方が19名、障害者就労支援施設 青松館10名、あすなるホーム3名で、車椅子の方が半数を占めるなど、視力測定の難しい方が多くおられました。車イスからの姿勢で測定機器をあてがうことが難しかったり、高齢で、測定のための光が眼に通らなかったり、質問のやりとりや、意思確認がはっきりしない方が多く、和光の技術力が発揮されたと感じました。



支援メンバー6名：清水元敦、秋田洋一、小野浩、安藤裕一、辻洋一、伊藤國生



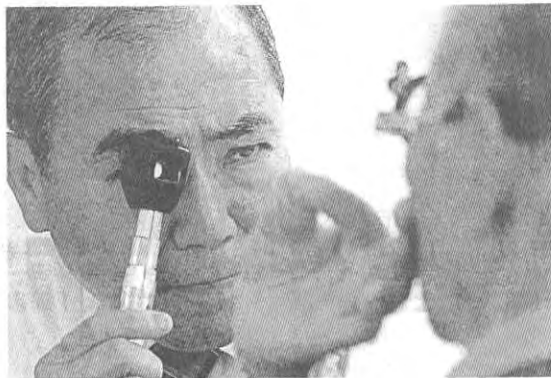
メガネのお渡し日。メガネを受け取られた方は、そのまま掛けて帰る方も多く、良く見えてうれしいと喜んでいただけました。現状の生活では、自分に合ったメガネを作る場所も機会もない中で、我々の支援は微力ながらも、地域の方々の生活の向上のお役に立てたことを確信して、松原苑を後にしました。

お渡しメンバー2名：辻洋一、田中寛之



朝日新聞名古屋本社  
 発行所: 〒460-8488 名古屋市中区  
 栄1-3-3 電話: 052-231-8131  
 www.asahi.com

メガネの和光(名古屋市中区)は10月4日、お年寄りや障害のある被災者にオーダーメイドの眼鏡を贈るため、岩手県陸前高田市に



## 見える安心 眼鏡支援

社員6人を派遣した。1人につき1時間ほどかけて、視力検査、レンズの選定、顔の形に合わせたフレームの微調整まで、店頭と同じ作業を行った。写真。

「こっちの方がよく見えるかな」。被災者を気遣うやさしい口調とは対照的に、社員たちの表情は真剣そのもの。

3日間かけて45人の眼鏡をつかった。「既製品ならもっと多くの人の手に届く、とも考えました。でも、眼鏡販売業ならではの支援がしたかった」と、同社販売促進課の辻洋一課長。眼鏡はいったん名古屋に持ち帰って仕上げ、10月下旬に再び陸前高田市で一人ひとりに手渡した。

メガネの和光 1946年設立。愛知県内を中心に、北海道から福岡まで34店舗を構え、メガネやコンタクトレンズ、補聴器、光学品などを販売。

# 岩手日報

発行所  
 株式会社 岩手日報社  
 盛岡市内丸3番7号  
 郵便番号 020-8622  
 電話番号 代表019(653)4111  
 振替口座02360-6-20番  
 ©岩手日報社2011

## お好みの眼鏡どうぞ

陸前高田で  
 名古屋「和光」  
 施設入所者に贈る

メガネの和光(名古屋)は7日まで、陸前高田市高田町の介護老人保健施設松原苑で、市内の福祉施設入所者約50人にオーダーメイドの眼鏡を提供している。

社員5人が事前に予約を受けた入所者らに視力検査などを行い、個人の用途に合わせて

眼鏡を提供。約350本のフレームが用意され、入所者は試着して社員のアドバイスを受けながら好みの眼鏡を探していた。

福祉施設の職業指導員菅野哲也さん(28)は「市内に眼鏡店がなく、施設の入所者は店に足を運びにくいのでとても助かる」と感謝し



好みのフレームを探す人にアドバイスする和光の社員(右)

た。同社販売促進課の辻洋一課長は「物を贈るだけでなく、一人一人が使いやすい物を提供したい」と話した。

# 東海新報

平成23年(2011年)  
10月7日 金曜日

©東海新報社 〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭 9-1 Tel.0192-27-1000(代) FAX0192-27-2154 振替口座 02300-9-188 http://www.tohkaishimpo.com/

## ピッタリのメガネを

### 名古屋の業者が支援

松原苑で

愛知県名古屋市のメガネ専門店・(株)メガネの和光(清水恭一社長)は5日から3日間、陸前高田市高田町の介護老人保健施設・松原苑で障がい者を対象とした「オーダーメイドメガネ支援」を展開中。

事前に希望した市内の障がい者らが訪れ、視力やデザインなどから自分にピッタリのメガネを注文し、喜ばれている。

メガネの和光は毎年、名古屋市内で障がい者を対象としたオーダーメイドメガネ奉仕会を開催。社会貢献事業の一環として行っており、メガネ完成後も定期的なメンテナンスに心じている。

東日本大震災後、同社では日本赤十字社に義援金を贈ったほか、被災地の支援に携わりたいと希望。被災地のニーズに答えられない

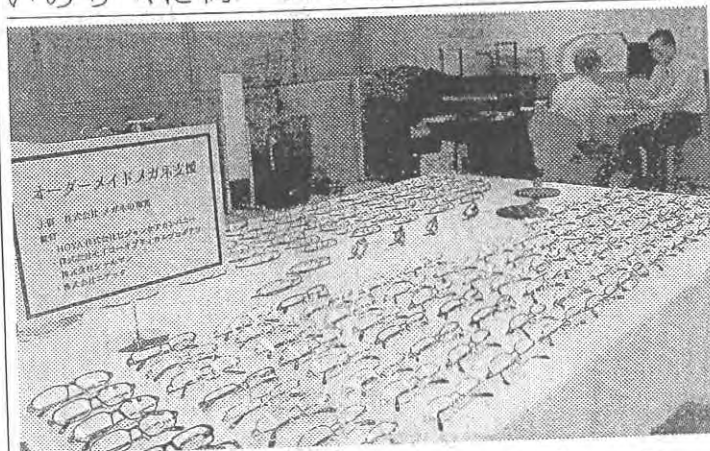
かとオーダーメイド支援を企画し、関係者のつながりもあって松原苑で行うこととなった。

開催にあたっては、同苑や市内の福祉施設を利用する障がい者ら

に対して事前に声を掛け、49人がメガネの新調を希望。会場には350本のメガネフレームや視力検査機械、鏡などを用意し、1時間あたり3〜4人が同社のスタッフから丁寧な

対応を受けながら視力検査やメガネ選びを行う。

メガネは名古屋で加工し、3週間後に完成。同社スタッフが届ける。同社本社統括部の辻洋一販売促進課長は「被災地での活動は初めてであり、とにかくやってみよう」と実施した。今回の様子を見て次回以降を検討したい。松原苑さんには拠点がない中で会場を提供していただきありがたい」と話していた。



障がい者を対象としたメガネオーダー支援を展開＝松原苑